

リアルタイム現地情報

「JA 茨城旭村いちご部会圃場巡回が行われました」

7月26日から29日にかけて、JA 茨城旭村いちご部会のほ場巡回を行いました。

普及センター職員と農協の営農指導員のほか、肥料メーカーと農薬メーカーの担当者が部会員のほ場を回り、生育状況や病害虫の発生状況の確認と、今後の管理のポイントや注意点について指導しました。

今年は天候に恵まれ、親株から発生した子苗の数は例年以上に多く、苗は十分に確保されました。また、梅雨の期間が短かったことから、炭疽病をはじめとする病害虫の発生は現時点では少なく、生育順調なほ場がほとんどでした。

いちごは苗の良し悪しが作柄に大きく影響するため、生産者は育苗中の施肥や病害虫防除等へのアドバイスに耳を傾けながら、今後の管理について意見を交わしました。

JA 茨城旭村いちご部会では、「とちおとめ」を中心に、「いばらキッス」、「やよいひめ」の3品種が生産されており、「いばらキッス」の作付面積は県内一となっています。販売実績が過去最高だった令和2年産を超えられるように、生産者と関係者が一丸となって高品質生産に取り組んでいきます。(成長産業)

